

# お手入れ方法と定期点検について

シート・サイドフレームに泥や埃などが付着すると錆びの発生を早めるほか、美観的にも好ましくありません。汚れがひどい場合は中性洗剤で汚れを落としてご使用ください。シンナー・ガソリン・殺虫剤など揮発性の高いものを使用すると、シートや塗装を傷めますので使用しないでください。

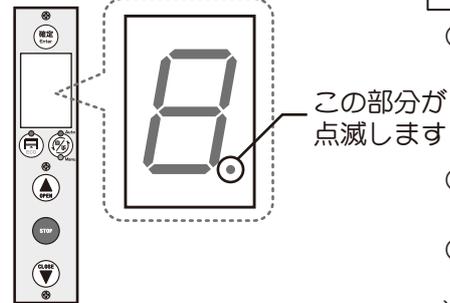


**警告**

日常点検は右表の通り必ず行ってください。日常点検を行わないと人身事故や重大事故になる場合があります。日常点検で不具合が発見されたら、ただちに使用を中止しお買い上げの取扱店にご連絡ください。

## 定期点検実施の目安 (開閉回数を目安にした点検時期)

一日当たりの開閉回数	定期点検回数(年)
1000回未満	1回
1000回以上	2回(半年に1回)



- ① 5万回/10万回/20万回(以降10万回毎)の開閉毎に操作パネルの7セグ表示部の点滅とブザーで点検時期をお知らせします。解除したい場合は **STOP** スイッチを押しながら **確定 Enter** スイッチを3秒以上押し続けてください。
  - ② 1ヶ月点検：毎月1回異音発生の有無及び各センサーの取り付け・検知エリアを点検し、正常に動作することを確認してください。
  - ③ 累計30万回の回数に到達しましたら、お買い上げの取扱店に総点検をご依頼ください。
- ※シャッターの大きさ・経過年数・使用条件・用途により点検回数は異なります。お買い上げの取扱店にご相談ください。

## 定期点検契約について

定期点検契約を結んでいただくと年1~2回の定期点検を実施します。詳しくはお買い上げの取扱店にお問い合わせください。

## 交換部品と交換時期目安

	消耗部品	交換時期(目安)	判定基準
耐久部	開閉器	100万回開閉、または5年	・回転不能 ・異常な回転音発生 ・停止位置の極端なズレ発生
消耗部	シート/チューブ	30万回開閉、または5年	・補修不能な破損 ・極端な汚れや透明度の低下
	チューブ復帰ガイド チューブガイド	50万回開閉、または5年	・補修不能な破損 ・チューブ接触部分の極端な変形や摩耗
	エアタイトシール	10万回開閉、または2年	・取付状態にて損傷、変形、亀裂の無いこと

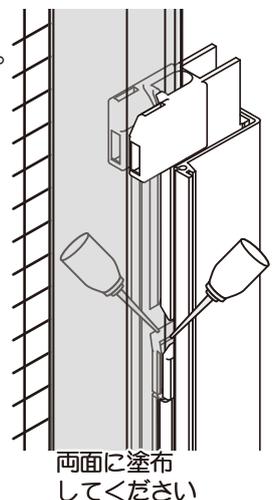
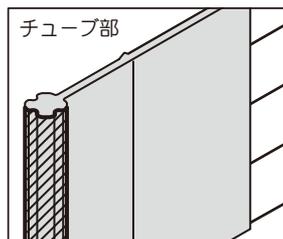
- 部品手配の際にはお買い上げの取扱店にご相談ください。その際に部品名、シャッターの「型式」「製造番号」を明示してください。
- 市販品補修材・付属潤滑剤
- ◎ シートの補修が可能な場合は下記の接着剤で補修してください。  
シート補修用接着剤：(株)スリーボンド社製 PANDO 156A相当品
- ◎ 動作時チューブガイドから音が発生する場合は付属の専用潤滑剤を塗布してください。潤滑剤は5~10万回毎の定期的な塗布を推奨します。

## チューブ部とチューブガイド部の点検と手入れ

門番の使用環境や運転回数によりチューブガイドから音が発生する場合があります。その際、チューブ部に異物が付着している場合は取り除いた後、付属の潤滑剤を塗布してください。

※専用の潤滑剤が1本付属しています。必要な場合はご注文ください。

図の  部に専用潤滑剤を塗布



※チューブ部の洗浄にシンナー等の溶剤は使用しないでください。

# シートシャッター門番点検表

点検実施日 年 月 日 製造番号 動作回数 回

	点 検 内 容	判 定 基 準	チェック
ボ ツ ク ス リ	動作時の異音	異音のないこと	
	変形および損傷	特に巻き取り動作に影響しないこと	
	上限、下限、ECOレベルの停止位置	著しいズレの無いこと	
フ サ イ ド ム	変形、損傷の有無	特にシートの動きに影響しないこと	
	ボルトの緩み	緩みのないこと	
	チューブ・ガイド部の異音・摩耗	チューブ・ガイド部の潤滑低下	
シ ー ト 部	損傷、汚れの状態	引っ掛かり無く円滑に上昇、下降すること	
	シートの摩耗状態	シートの動きに影響しないこと	
電 装 関 係	起動センサーの検知エリアの状態	通過物体に適した検知エリアであること	
	起動センサーの反応	正しく反応し機能すること	
	光電管センサーのレンズ面の汚れ	機能に支障のある汚れが無いこと	
	光電管センサーの取付位置の状態	設置後も通過物体に適した高さであること	
	各センサーの取付状態	緩み・がたつきの無いこと	
	エアタイトシールの取付状態	損傷、変形、亀裂の無いこと	